森を建てよう。

建築家が創るHOPデザイン。

目指したのは「美術館のような家」 T邸

白い清潔感、シンプル、曲線美、緩やかなスロープ…、“エレガント”というキーワードからイメージを広げ、住宅そのものをアートに見立てた。住まいの中心に円形の中庭を配し、住宅内部に曲線とスロープを取り入れるという挑戦的なプランは、オーナーの夢見た「美術館のような家」として見事に結実している。

高低差のある敷地を上手く利用し優雅なカーブを描く、アプローチからエントランス、玄関へ至る動線。
撮影／安達 治

HOPハウジングオペレーションアーキテクツInc.

PR